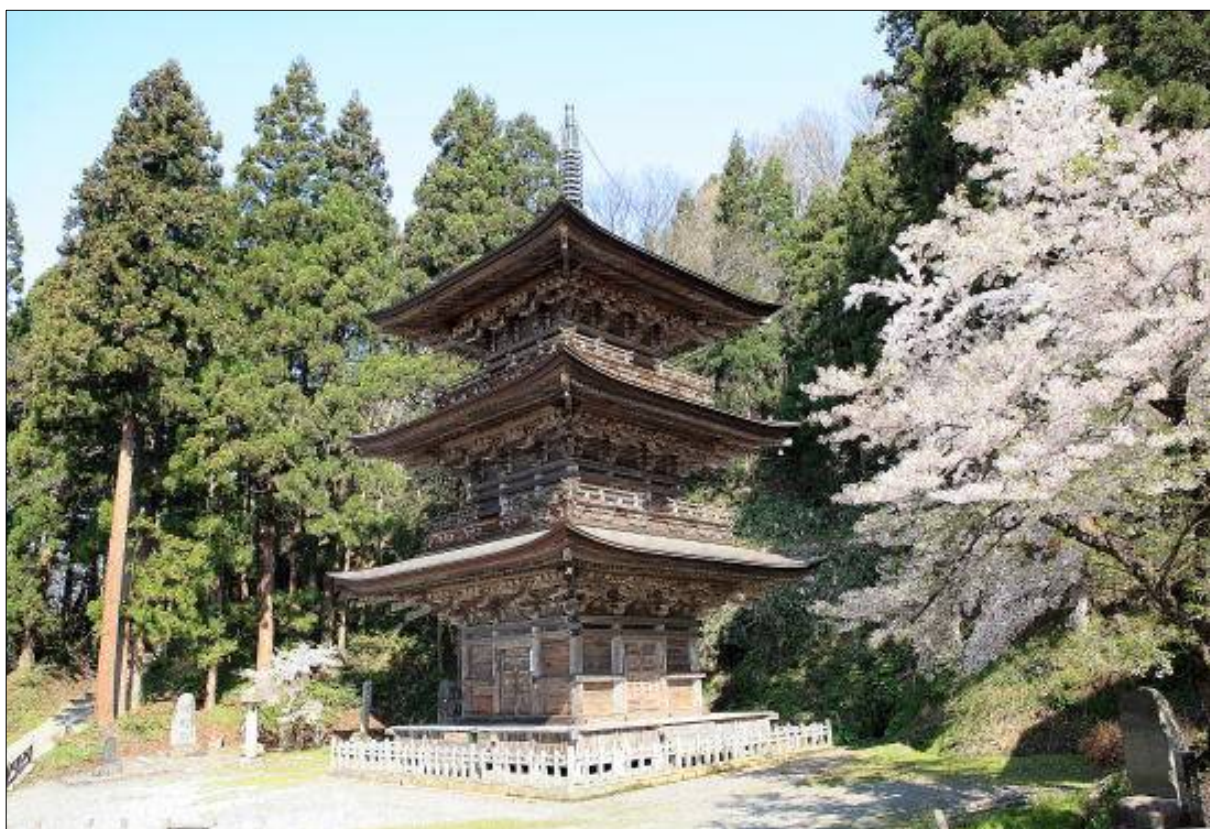


支部だより

Internet 配信版

冬号 No.60
令和3年1月
電気管理 山形県支部
【禁複写】



～ 目 次 ～

新年のご挨拶	副支部長 岸 勇一	…	1
令和2年度電気使用安全講習会を終えて	置賜地区 須貝 一彦	…	2
新会員のご挨拶			
電気管理技術者を目指した「きっかけ」	山形地区 佐藤 浩基	…	3
自己紹介させていただきます	山形地区 鈴木 文刀	…	4
元気のみなもと 『元気が出ること』	鶴岡地区 菅原 俊一	…	5
私のこだわり自慢 ～自慢のチャーハン～	酒田地区 山田 俊一	…	6
失敗は成功のもと【番外編】 ……ちょっと失敗	新庄地区 栗田 浩二	…	7
支部の主な動き		…	8

表紙のことば

天童・寒河江地区 会員番号 878 石山 昭人

寒河江市にある「瑞宝山 本山 慈恩寺」の、本堂境内より西側の一段低い所に「三重塔」があります。古くは、安土桃山時代の慶長13年(1608年)、出羽山形藩 初代藩主の最上義光によって建立されましたが、文政6年(1823年)に焼失しました。今の塔は、江戸時代の文政13年(1830年)に再建されたもので、県の重要文化財に指定されています。塔内には、鎌倉中期の大日如来像が安置されており、期間限定で公開されます。構造は木造 銅板葺、高さは26.7mであり、当時の技術の高さを充分に知ることができます。

以前、県内のご当地CMで「若返り信仰 慈恩寺」と話題になりましたが、その後も話題を絶やすことなくイベントを開催しています。毎年、年明けを祝い花火を打ち上げるのですが、新型コロナウイルスの影響もあって、混雑(三密)を避けるため中止になるかもしれません。

～ 新年のご挨拶 ～

副支部長 岸 勇一

新年明けましておめでとうございます。今年もよろしく申し上げます。

昨年年初から雪が少なく、積雪も0cmの所がほとんどで穏やかな年の始まりでした。しかし、3月あたりから新型コロナウイルスの感染者が増え始め、生活は一変し、4月に行われるはずだった支部総会も書面決裁となりました。その後ウイルスは年末あたりには終息するのかなと思いつつ、それどころか勢いが増している状況です。

さらには、7月には集中豪雨による水害、夏の猛暑、また年末には大雪と大変な1年でした。

特に7月28日の集中豪雨の時は第2回支部研修会の当日で、災害エリアメールの着信音が何度となく鳴り響き、なんとも落ち着かない研修会となってしまいました。庄内地区の出席者は家に帰ることができず、一泊して翌日に帰られたそうです。

私自身の地元でも土砂災害警戒区域になってしまい、避難の連絡が入りました。やむなく研修会の途中で帰り、避難所に避難しました。その日は避難食を食べ、夜の11時まですごすことになりました。

今年は、大きな災害がないことを、切に願っています。

昨年11月に開催した第3回支部研修会では、昨年12月10日から本格的に運用が開始された保安ネット（電子申請）の対応について、本部事務局の小野様より説明がありました。研修会の大部分をこの保安ネットの説明に使ったわけですが、やはり説明を聞いただけではだめで、実際に使ってみることだと思いました。とりあえず1件入力してみれば、操作方法とか色々な疑問が出てくるはずです。わからないことがあれば、詳しい会員や本部事務局に聞きながらやるしかないなと思いつつ、説明を聞いて

ていました。最後は活発な質疑応答となり、研修会は終了しました。

翌日の施設見学会では、東北電力(株)様のご協力により、朝日町にある『盲特別養護老人ホーム 和合荘』を見学させていただきました。東北電力のモデル施設ということでオール電化の施設でした。ヒートポンプ空調・給湯・床暖房システム、また電化厨房システムなどの設備です。今回はコロナ禍の中ということもあり、主には施設の外回りだけの見学となりました。施設見学終了後『さがえ紀の代』で昼食をいただき解散になりました。東北電力様 おいしい昼食ありがとうございました。



(和合荘にて)

最後に、今年は丑年です。自分も昭和36年生まれの丑年で60才になります。という訳で“丑年はどんな年”で調べてみました。『我慢(耐える)』そして『発展の前触れ(芽が出る)』を表す年になると言われているのだそうです。

よってこんなふう解釈してみました。我慢(耐える)は新型コロナウイルスに耐える、発展の前触れ(芽が出る)はワクチンの普及です。『ワクチンが普及するまで新型コロナウイルスに耐えて、経済・生活など全てが元通りになる年』になるのかな。

令和 2 年度電気使用安全講習会を終えて

置賜地区 会員番号 772 須貝 一彦

毎年、各地区持ち回りで開催されている電気使用安全講習会が、今年度は置賜地区が担当となり、去る 9 月 9 日南陽市文化会館の小ホールにおいて開催しました。

開催当日は、当初予定していた人数を若干下回ってしまいましたが、それでも 77 名の参加を得ました。PCB についての外部講師 2 名、佐藤支部長始め主催者側 12 名を加え、総勢 91 名での開催となりました。

会場の収容人数は 200 名で、ほぼ 50%の収容率の中、参加者どうし適度な間隔を保てるように工夫しました。また、入場の際マスクはもちろんのこと、検温や消毒のご協力をいただき、コロナ禍が不安視される状況下、なんとか安心・安全を確保できたものと思われま

す。若月会員の司会で、初めに主催者を代表して佐藤支部長の挨拶があり、その後以下の内容で適宜進め、ほぼ予定時間内で終了することができました。



(会場全景)

- 講演Ⅰ 電気設備の概要とトラブル事例について
- 講演Ⅱ 電気器具の安全な使い方について
- 講演Ⅲ DVD 上映「潜入!低圧電気の事故現場」
- 講演Ⅳ PCB の基本知識と PCB 含有機器の掘り起こしと判別方法について

公益財団法人産業廃棄物処理事業振興財団から田口亨氏、土屋さおり氏のお二方をお迎えし、PCB 全般に関して、具体的な説明を受けました。



(外部講師の土屋さおり氏)

このたびの講習会にあたり、6 月末の地区会を皮切りに 3 度に渡る打ち合わせを重ね、置賜地区 10 名一丸となって、開催に向けて取り組んできました。

佐藤支部長と栗田広報委員には、当日準備段階から駆け付けていただきました。また垂れ幕の作製については、田中前支部長から快く引き受けていただきました。そして、前年度開催された酒田地区の本間氏からは、データー一式を提供いただきました。

非常に助かりました。ありがとうございます。

当日は、コロナ禍が危惧される中、大勢のお客様から足を運んでいただき、成功裏に無事終了できましたこと、関係各位に感謝申し上げます。

アンケートの結果もおおむね良好の記述をいただきました。発展的なご意見もありましたので、次回の講習会に反映し、より充実した内容の濃いものにしていきたいと考えます。

電気管理技術者を目指した「きっかけ」

山形地区 会員番号 946 佐藤 浩基

私は現在 43 歳なのですが、35 歳を過ぎるまで電気とは無縁の生活を送っていました。ごく普通のサラリーマンを父に持つ家に生まれ、地元の小学校中学校を卒業し、高校も普通高校を、大学も電気とは関係のない水産系の大学を卒業しました。学生時代の電気との関わりと言ったら中学生の時にオームの法則、フレミングの左手の法則、右ねじの法則なんかを習ったくらいで、ほとんど皆無でした。ただ今でも覚えているのが、実験で磁石を動かしたら鉄の棒が触ってもいないのに動いたことです。その時はとてもびっくりした記憶があります。

こんな私が電気管理技術者を目指す最初のきっかけとなったのが、就職した会社で工場に配属されたことでした。希望は会社では花形の水産商社部門だったのですが、英語が堪能なわけでもない私には当然無理な話で、宇都宮にある工場で体を酷使する仕事に配属されました。

その工場ですみずみになりながら働いていたある日、突然上司からぶっきらぼうに「電検とれ」と言われました。その上司というのが元遠洋漁業の漁師で、口よりも体が先に動くような人だったので逆らうことはできず、どんな資格なのかわかりませんでした。ただ「はい、わかりました」と答えました。とは言ったものの勉強をしようとテキストを買ったのは良かったのですが電気のイロハも知らない私が合格するはずもなく、理論だけ受験して、あとは受験会場だった東京の誘惑に負けて遊んで帰ってしまいました。当然理論も散々な結果だったのは言うまでもありません。

当時は委託料がもったいないから電検を取らせようとしていると思いこんでいましたが、今考えると新入社員だった私のことを考えて言ってくれていたのかなと思います。まだ頭の柔らかいうちに資格をとれということだったので、そのときの私には全く伝わりま

せんでした。

それから 10 年近くが経過しました。その間に私も工場勤務から営業勤務を経験して、また工場に戻ってきました。サラリーマンなので毎年目標を立ててどれだけ達成したのかが、その年の評価になるのですが、その目標の 1 つに電検 3 種取得を上げられました。これは自分の意志ではなくて当時の課長の強制目標です。

ただこれが良いきっかけになりました。合格しなければゼロ評価でボーナスも下がるわけなので、頑張らないわけにはいきません。電検の難しさを知っていた私は、自分の力だけではどうしようもないと、学校に行くことを決意しました。それから半年間土曜日は東京まで普通電車で往復 2 時間かけて通学し、日曜日は朝から晩まで図書館で勉強をするといった週末を過ごしました。おかげでなんとか電気のイロハも知らなかった私が合格することができました。

そして、その通っていた学校で電気管理技術者の方と知り合いました。その時はそのような職種があることも知らなかったのですが、サラリーマンとして同じような日々を繰り返していた私にとって、電気管理技術者の仕事内容は非常に面白く興味深く感じられました。これが私の電気管理技術者という仕事に出会ったきっかけです。

これらの「きっかけ」があって電気管理技術者を目指すことになり、令和 2 年 8 月に念願の仕事につくことができました。ここまでたどり着けたのは電気管理技術者の田中様をはじめ、多くの電気管理技術者の方にご指導およびバックアップしていただいたからだと思います。

改めて御礼申し上げます。まだまだ足りないところも多いとは思いますが、今後ともよろしく願いいたします。

／／ 自己紹介させていただきます ／／

山形地区 会員番号 947 鈴木 文刀

2020年8月に正会員として入会いたしました、鈴木文刀と申します。今年で36歳になりまして、妻と娘(0歳)とアパートで暮らしております。名前の漢字が読めないと言われることが多いのですが、「あやと」と読みます。「文」→「勉強」、「刀」→「運動」ということで、文武両道の願いを込めて付けた名前だそうです。

子供の頃を思い出すと、勉強の成績はクラスの中でも平均的でしたが、運動の方は平均より少しだけ苦手な子供でした。実際は文武両道ではありませんでしたが、一応バランスは取れていたかなと思います。

私の場合、電気管理技術者になるための実務経験を得る目的で、山形市内の洋菓子屋さんの門を叩き、電気主任技術者に選任してもらっておりました。お菓子作りとは無縁の人生でしたので、慣れるまでに長い期間を要しまして

「イチゴの切り方が悪い!!」

「砂糖はもっと均等にまぶせ!!」

「テキパキやらないと将来独立した時に利益出せないぞ!!」

などと、他の人よりも厳しく怒られたものでした。特にクリスマスの時期は忙しく、朝から夜中までケーキにイチゴやチョコハウスを載せ続けて、家でお風呂に入っても手からイチゴの匂いが取れませんでした。クリスマスは寂しい思い出しかないので、以前からあまり得意ではなかったのですが、ますます苦手になってしまいました。良かった所と言えば、市販のカップアイスを食べる時に、フルーツやコーンフレークと一緒にグラスに盛り付け、パフェにして食べるようになったことでしょうか。将来、娘にパフェを作ってあげれば喜ばれるのではと思っています。

そんな中、無事に実務経験を積み管理技術者になれたのは、入会前から大変お世話になって

いる先輩のおかげでした。改めて感謝申し上げます。入会後は、その先輩や他の先輩にも年次点検などに呼んでいただき、試験方法などを勉強させていただいております。どの先輩も穏やかで親切な方ばかりで、疑問に思ったことは快く教えていただけますし、技術的なこと以外でもアドバイスをいただき、そのたびに入会して良かったなぁと実感しております。また、年次点検の時間帯によっては、昼食(ラーメン)をごちそうになることもあります。私はラーメンが大好きなので、その点においても入会して良かったなぁと感じております。ラーメンを食べたらランク(S・A・B・C)を付けてエクセルで一覧表にしておりますので、美味しいラーメン屋さんをご存じであれば教えていただきたいと思っております。

最後にお恥ずかしい話ですが、社会人になって14年程たっても常識的なことが身につけておりません。特に協会には自分よりずっと年上の方がたくさんおられますので、礼儀作法など失礼がありましたら、その場で教えていただければ幸いです。試験方法などでも覚えることがたくさんあり、今は自分のことだけで精一杯ですが、将来的には協会のために貢献できる人になれるよう、頑張っていきたいと思っております。今後共ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。





健康法やリフレッシュ法などを紹介して頂くコーナーです

『 元 気 が 出 る こ と 』

鶴岡地区 会員番号 850 菅原 俊一

今私にとって元気が出ることは、稲作、山ブドウ作り、そして電気管理の仕事です。電気管理の仕事は、時間や会社組織に拘束されることなく、働いた分の見返りは必ずあり、とてもやりがいを感じます。

ワイン加工用の山ブドウを栽培しています。本年度も 7 月下旬までは南陽や高畠、その他の地域の「デラウエア種」と同じような見事な房を付けるようになります。



ちょうどそのころは、水田の湛水と排水を繰り返す水管理や病害虫予防の消毒、また自粛前の一斉草刈共同作業、お盆に向けた墓掃除、屋敷周りの清掃、野菜畑の見回り等に注意が向くため、ブドウは 20 日間ほど手薄になってしまふのです。その結果、果実を虫に刺され腐敗し病気がまん延、これは大変と防除に精を出した後の 9 月上旬には、早生部分が猿の食害にあうというように、絵にかいたような被害の繰り返しです。今年は房が歯の欠けた状態となり、肩を落としました。

電気管理においてケーブル不具合の予兆から事故を防ぎ「元気」が出たことがありました。

設置後約 10 年の設備において受託初年度の年次点検にて、LBS より電源側高圧部分の絶縁抵抗値が数十 MΩでした。海岸より 10Km くらい離れている事業場です。PAS か VCT あるいはケーブルかを特定できずに、経過観察とし記録書には所見を記載しませんでした。翌年度詳細を調査するよう心に決め、年次点検で判定の難しい高圧ケーブルを『G ガード測定法』DC5000V にて測定した結果、やはり 100MΩ 以下となりましたので、停電にて詳細調査が必要であることを所見に記載して改修に移行しました。

不具合を特定するため、耐電圧試験をせず『事故点ロケター』測定を行いました。すると受電柱より 12m~14m 付近となり、地下埋設管路にある力が加わり接続部分の破断かと思立、対策は埋設部分を開削して不具合部分まで電線を切除し、取り替えることで最終工事を進めました。結果としてケーブルヘッド差し込み箇所のヘッド碍子がひび割れていたため、電線に雨水が侵入し絶縁抵抗の低下として現れたのでした。

絶縁抵抗値の低いものとシースに流れる漏洩電流が不均等に多く出るのは要注意です。シー抵抗値測定が必要であり、原因追求と詳細調査をしてよかったというのが結論です。

私の こだわり自慢

仕事上の工夫やこだわり、プライベートの趣味などを紹介して頂くコーナーです

～ 自慢のチャーハン ～

酒田地区 会員番号 860 山田 俊一

私のこだわりは、チャーハン作りです。

私は学生の頃、ラーメン店でアルバイトをしていました。店長のおおるチャーハンがズバ抜けて美味しかった思い出が残っています。

その味を求めてたどり着いた、家庭でも簡単にできる、こだわったパラパラチャーハンレシピをご紹介します。



★コツその①

「油はラードを使う」

サラダ油やゴマ油よりコクというか深みがあります。

★コツその②

「温かいごはんをマヨネーズを絡める」

フライパン投入前のご飯をマヨネーズでコーティングすることによって、あおった時に簡単にパラパラになります。

★コツその③

「強火ではなく弱火～中火であおる」

プロ仕様のガスの火力はハンパないので、焦

げないように素早くあおっています。

プロのマネをしたくなりますが、家のガスコンロで強火であおっても、技術のない素人にはコゲるだけです。

コゲると焦ってしまい、失敗してしまいます。素人は弱火～中火で、ご飯がパラパラになるのをイメージして、ゆっくりあおった方がいいです。火力が弱くてもマヨネーズコーティングのおかげで、次第にパラパラになります。

★コツその④

「気持ちよくなってもあおりすぎない」

理想通りのパラパラ感になると気持ちよくなってしまい、何度もフライパンをあおりたくなりますが、調味料を入れた後はあおりすぎると味がボケてしまいます。あおり運転はほどほどでやめておきましょう。

★コツその⑤

「1回で作る量は2人前まで」

4人家族分を作るからといって1回で4人分作ってしまうとパラパラになりません。面倒でも2人前ずつに分けて作りましょう。

以上が私がたどり着いたパラパラチャーハンレシピです。

今回は撮影用にエビチャーハンを作ってみました。家族の評価点は、85点でした...

皆さんも機会がありましたら、ぜひパラパラチャーハンに挑戦してみてください。



・・・ちよつと失敗

新庄地区 会員 No.706 栗田 浩二

【番外編】

新年早々に、客先から呼び出しがありました。エアコン用の漏電ブレーカーがトリップして投入できないとのことでした。ちょうど大寒波が襲来していた日でしたので、エアコンがないと寒くていられないだろうと、まずは不良回路を特定することにしました。

子ブレーカー全部切って主幹の漏電ブレーカーを復旧、それで子ブレーカーを1個ずつ入れていくという典型的な手法です。首尾よく特定に至り健全な回路は復旧できたので、安心して安全運転で現地に向かいました。

小一時間ほどで現地についたところ、「寒くて大変です。早く直してください」と言われ、『ん？不良回路以外は復旧したはずでは？』とか思いながらも、「すみません、私は確認だけで、故障の修理はできないんですよ」と、申し訳なくも間違った期待を打ち切りつつ、調査を進めます。

特定してもらった子ブレーカーのメガは想定通りほぼ0MΩ、不良を確信できました。更にどのエアコンかを特定すべく図面にとらめっこ、フロアの一角であることがわかりました。

先ほどから引っかかっていることに戻りますが、どうしてそんなに寒かったのだろうか？『まさか！？』と思いつつ、おそるおそる聞いてみました。

「ブレーカーを復旧後、エアコンのスイッチは入れましたか？」

「いいえ何もしていません。」

『あ～、そういうことだったんだ。』と猛省しながらも、健全なエアコンを復旧してもらいました。これで暖が取れます

完全な思い込みでした。ブレーカーを復旧す

れば、エアコンのスイッチを入れるのは説明するまでもないこと！とっていたことに、その時初めて気づきました。もう一言が足りなかったばかりに、寒い思いをさせてしまいました。工場でしたら、生産に影響していたところですが、相手の立場になって対応することの大切さを、あらためて痛感しました。

最後に工事会社に修理依頼の電話をかけ、その場をあとにしました。

ついでにもう一つ、ある時にはこんなことがありました。

月次点検の時にはカギを借ります。そのお客さんでは、キュービクルとマスターキー2種、計3個のカギです。特に問題なく点検を終え、鍵を返し報告書を作っていると、「鍵が1個足りないんですけど」と不審げに言われたのです。

『ちゃんと3個返したはず』と思いつつも、まずはポケットを探るもなし、点検経路を探索しましたがやはりないのです。

『やっぱりちゃんと返したよね？』と半信半疑で、疑ってはいけないと思いつつもお客さんの手に渡した後の経路を探しました。見つけました。カギ箱の下に落ちていたのです。

お客さんを悪者にはできませんので、「見つかってよかったです。」と、営業スマイルでことなきを得ました。

これを教訓に、カギは1個ずつ確認しながら返すようになりました。

「キュービクルと、マスターキーが1個、2個、計3個ですね。」

これでお互い確認し合えます。より信用を高められたと確信しています。

支部の主な動き

* 本部の理事会や各委員会などにつきましては、本部発行の会報をご覧ください。

～ これまでの経過 ～

区分	名称	日程	場所	備考
県支部	支部だより No.59 発行	R2/7/20(月)	-	
	電気使用安全講習会	R2/9/9(水)	南陽市文化会館(南陽市)	91名
	第2回支部役員会	R2/9/30(水)	山形ビッグウイング	16名
	第3回支部研修会・施設見学会	R2/11/11(水)	山形国際ホテル(山形市)	51名
R2/11/12(水)		和合荘(朝日町)	10名	
各地区	置賜地区 第2回地区研修会	R2/10/26(月)	ゆあーず(米沢市)	8名

～ これからの予定 ～

区分	名称
県支部	賛助会員入会面接(2名) R3/1/31 山形ビッグウイング
	第3回支部役員会
各地区	各地区研修会

～ 支部会員の動き ～

(敬称略)

区分	地区	氏名	日付
正会員	入会	山形市 佐藤 浩基	R2/8/17
正会員	入会	山形市 鈴木 文刀	R2/8/17
正会員	退会	鶴岡市 関原 正	R2/10/2



**** あとがき ****

【 禁 複 写 】

広報委員 栗田 浩二

コロナ禍と大雪とで、新年からいい話がありませんが、かくいう私も、正月早々腰を痛めてしまいました。受託先でもある整形外科で『ぎっくり腰』と診断され、2、3日は不自由な生活でしたが、なんとか復活したところです。雪片付けには十分気を付けましょう。

雪深い私の地元では冬期間は年次点検ができませんので、比較的ヒマな季節です。保安ネットの整備をと、知恵熱が出そうになりながらも、日々励んでいる今日この頃です。

支部だより No.60

Internet 配信版

令和3年1月20日発行

(一社) 東北電気管理技術者協会 山形県支部
〒990-0863

山形市江南四丁目10番14-10号

TEL 023-665-1070

FAX 023-665-1071

Eメール info@eme-yamagata.com

編集責任者 広報委員 / 栗田 浩二